

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	ビジネス実務Ⅴ				科目コード	28071601	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携	
必修	講義	3 年次	前期	72	4	無	
授業の概要・目的	就職目前となり、実際に自分が仕事をする意識を持ち、社内での具体的な場面の例題から対応やマナーを学ぶ。						
到達目標	日本で働くことが目前となり、実際に仕事をすることを意識して場面ごとに応じた具体的なマナーや対応、言葉遣いを習得する。						
評価項目	期末試験(85%)、出欠席(5%)、確認テスト(10%)						
評価基準	確認テスト：単元ごとの確認テストを行う。 期末試験：単元ごとの内容、まとめ問題等を行う。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。						
担当教員	小野 美穂子				常勤		
実務経験者による授業							
テキスト・参考文献	改訂版 留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール						
関連科目	ビジネス基礎Ⅰ ビジネス基礎Ⅱ ビジネス実務Ⅲ ビジネス実務Ⅳ ビジネス実務Ⅵ						
授業計画	第一章 ビジネスコミュニケーション 第二章 ビジネスのルール 第三章 社内のマナー						

国際ＩＴシステム学科 2025 年度

科目名	実践ビジネスコミュニケーションⅠ			科目コード	28017301	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	前期	30	2	無
授業の概要・目的	日本のビジネスに必要な基本的なこと（敬語やビジネスマナー）を身につける。また、敬語の意味や使い方を学習しながら、日本社会のあらゆるビジネスシーンで対応きる実際の会話力を養う。また、中級・中上級の読解力を身につける。					
到達目標	日本で働くときに役に立つマナーやルールについて理解し、実践できる。日本人学科との合同授業において、グループワークを通して意見交換ができるようになる。					
評価項目	期末試験(75%)、確認テスト(10%)、提出物(10%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト：単元ごとについて確認テストを行う。 提出物：決められた単元の発話を動画で撮影し、発音のレベルをはかる。 期末試験：単元ごとの内容、まとめ問題等を行う。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	難波 芳子			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	中級レベルからの実用ビジネス日本語 株式会社 アルク 話す・書くにつながる！ 日本語読解 中上級 株式会社 アルク					
関連科目	言語基礎ⅠAⅡA 言語基礎ⅠBⅡB 通訳ⅠⅡ 言語知識ⅠAⅡA 言語知識ⅠBⅡB ビジネス文書演習ⅠⅡ 実践ビジネスコミュニケーションⅡ					
授業計画	1 第1章 挨拶 自己紹介 慰めの言葉等 スピーキングテスト 2 第2章 電話対応 電話対応のフローチャート 電話を取る 電話をかける 他 スピーキングテスト 3 第3章 依頼 依頼を受ける 催促する 4 Coffee break 日本の社会における習慣やマナーについて 確認テスト 5 1 課 文章に書かれている価値観と一般的な価値観を比較し、自分の考えをまとめる 6 2 課 筆者の提案を課題を通して実践し、理解を深める 7 3 課 テーマである「記憶」「言語」について話し合い、発表する 8 6 課 文章のテーマに関して、話し合ってまとめる 9「一番好きな日本語」についての作文を書く					

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	IT 企業リテラシー I			科目コード	28070801	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	前期	70	4	無
授業の概要・目的	日本の社会で働く上で必要な社会のマナーを理解し、あらゆるビジネスシーンに対応できる力を身につける。 日本で就職するうえで必要な知識や技術（敬語、ビジネス文書、SPI、グループディスカッション）を深める。					
到達目標	就職先となる 4 分野の業界について、必要な情報を主体的に収集することができる。 また、SPI の問題が解けるようになる。					
評価項目	期末試験(85%)、確認テスト(10%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト：単元ごとの確認テストを行う。 期末試験：単元ごとの内容、まとめ問題等を行う。 その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小野 美穂子			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	ドリル式 あっという間にまるわかり SPI 問題集 2027 図解＆書き込み式					
関連科目	ビジネス実務					
授業計画	・すららネット ・第一章 SPI 非言語分野（理数系）					

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	ビジネス表計算技法Ⅱ			科目コード	28050601	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	前期	45	3	無
授業の概要・目的	Excel の基本的な操作（データ入力、罫線・グラフの作成、関数の利用、セルの参照、判定条件、検索関数）について学び、Excel 検定 3 級合格レベルまで引き上げることを目的とする。					
到達目標	社会人としての標準レベルの関数や図表を使いこなし、Excel 3 級を取得できる。					
評価項目	期末試験 (95%)、出席席 (5%)					
評価基準	期末試験:Excel3 級に準ずる科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤原 直樹			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	例題 30+演習問題 70 でしっかり学ぶ Excel（技術評論社）					
関連科目	パソコン演習Ⅱ (Excel/PowerPoint)					
授業計画	1. 1 章 Excel を始める前に 2 章 Excel をはじめよう 2. 3 章 関数を使って計算しよう 3. 4 章 見やすい表に変更しよう 4. 5 章 グラフ機能でよりビジュアルに 5. 6 章 ちょっと便利な関数 6. Excel 検定 練習問題 7. Excel 検定 模擬問題					

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	Java プログラミング演習 II			科目コード	28021801	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	前期	45	3	無
授業の概要・目的	I で学んだ Java による基本的な処理とデータ構造、オブジェクト指向の基本概念を問題演習を繰り返すことにより理解を深め Java 検定 2 級取得を目的とする。					
到達目標	I に引き続き、C 言語の知識を生かし、日本人学生と同じスピードで、新しいプログラミング言語を修得し、Java プログラミング 2 級の取得を目指す。					
評価項目	検定結果 (50%)、確認テスト (45%)、出欠席 (5%)					
評価基準	検定結果：Java 2 級の検定結果により判定し評価する。 確認テスト：単元別確認テストで理解をはかる。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	新谷 俊朗			非常勤講師		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	サーティファイ Java™ プログラミング能力認定試験 2 級 過去問題集 サーティファイ 発行 スッキリわかる Java 入門 第 3 版 インプレス スッキリわかる Java 入門 実践編 第 3 版 インプレス					
関連科目	Java プログラミング演習 I C 言語プログラミング演習 II					
授業計画	1. Java プログラミング能力認定試験 2 級過去問題集 過去問題 ① 2. Java プログラミング能力認定試験 2 級過去問題集 過去問題 ② 3. Java プログラミング能力認定試験 2 級過去問題集 過去問題 ③ 4. Java プログラミング能力認定試験 2 級過去問題集 過去問題 ④ 5. Java プログラミング能力認定試験 2 級過去問題集 過去問題 ⑤ 6. Java プログラミング能力認定試験 2 級過去問題集 過去問題 ⑥ 7. Java プログラミング能力認定試験 2 級過去問題集 過去問題 ①・②抜粋 8. Java プログラミング能力認定試験 2 級過去問題集 過去問題 ③・④抜粋 9. Java プログラミング能力認定試験 2 級過去問題集 過去問題 ⑤・⑥抜粋					

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	データベース演習			科目コード	28023401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	前期	50	3	無
授業の概要・目的	SQL の基本的な文法及び、正規化の考え方を学習し、SQL が発行できるようになることと、情報処理試験の SQL 問題が解けることを目的とする。					
到達目標	リレーショナルデータベース (RDB) の基礎、SQL の基本的な文法および正規化の考え方を学習し、SQL で RDB を操作することができる。					
評価項目	期末試験 (95%)、出席率 (5%)					
評価基準	期末試験：データベースの全体像を問うような科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤原 直樹			常勤		
実務経験者による授業	SE プログラマー 5 年					
テキスト・参考文献	スッキリわかる SQL 入門 第 2 版 (インプレス社) 情報処理試験合格へのパスポート システム開発と情報技術/シラバス 7.0 対応 (ウイネット)					
関連科目	情報セキュリティ概論 コンピュータシステムⅠⅡⅢ					
授業計画	1. 第 0 章 データベースを学ぶにあたって 第Ⅰ部 SQL を始めよう 2. 第 1 章 はじめての SQL 3. 第 2 章 基本文法と 4 大命令 4. 第 3 章 操作する行の絞り込み 5. 第 4 章 検索結果の加工 第Ⅱ部 SQL を使いこなそう 6. 第 5 章 式と関数 7. 第 6 章 集計とグループ化 8. 第 7 章 副問い合わせ 9. 第 8 章 複数テーブルの結合 第Ⅲ部 データベースの知識を深めよう 10. 第 9 章 トランザクション 11. 第 10 章 テーブルの作成 12. 第 11 章 さまざまな支援機能 第Ⅳ部 データベースで実現しよう 13. 第 12 章 データベースの設計 付録 14. 練習ドリル 基礎問題 (SQL) 15. 練習ドリル 発展問題 (DB 設計)					

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	JavaScript 演習				科目コード	28025101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携	
必修	演習	3 年次	前期	45	3	無	
授業の概要・目的	JavaScript および jQuery の基本文法を学習し Web サイトに自動的なパーツや要素を作成しインタラクティブなサイトを制作できることを目的とする。						
到達目標	JavaScript の基本的な文法を修得し、ブラウザの表示を自動的に変更するアプリケーションを作成できる力を身につける。						
評価項目	期末試験 (65%)、制作物 (30%)、出欠席 (5%)						
評価基準	制作物：JavaScript を使ったページを作成しプレゼンテーションを行いアウトプットする。その表現結果により評価する。 期末試験：JavaScript の全体像を問うような科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。						
担当教員	若林 潤一			非常勤講師			
実務経験者による授業	県内システム会社勤務を経て WEB サービス会社の社長 C00 として従事した後独立。Web システムの開発、サービス提供の経験をもとに講義を行う。						
テキスト・参考文献	ECMAScript 2017(ES8)対応 人気講師が教える Web プログラミング入門（インプレス）						
関連科目	Web サイト制作演習ⅠⅡ Web サイト制作演習Ⅲ (HTML, CSS)						
授業計画	1. Chapter 1 プログラムを作成する準備をしよう Chapter 2 プログラムを作りながら基礎を学ぼう 2. Chapter 3 条件分岐について学ぼう 3. Chapter 4 関数の基本を学ぼう 4. Chapter 5 繰り返し処理について学ぼう 5. Chapter 6 HTML/CSS を操作する方法を学ぼう 6. Chapter 7 ユーザーの操作に対応させよう 7. Chapter 8 データをまとめて扱おう 8. Chapter 9 フォトギャラリーを作成しよう 9. Chapter 10 便利な jQuery を使用してみよう 10. Chapter 11 Web API の基本を学ぼう 11. Chapter 12 YouTube の動画ギャラリーを作ろう 12. JavaScript を使った Web ページ制作						

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	IT 実践演習			科目コード	28014801	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	前期	60	4	無
授業の概要・目的	2 次元 CAD 利用技術者基礎試験の合格に向けて、6 つの章から成り立つ範囲の理解、CAD だけではなく、ネットワーク、セキュリティ、法律、図形も身に付ける。					
到達目標	2 次元 CAD 利用技術者基礎試験の合格に向けて、CAD と製図の基本技術を身につけることができる。					
評価項目	検定試験（85%）、確認テスト（10%）、出席率（5%）					
評価基準	検定試験：CAD 利用者技術者試験基礎を受験し、結果を評価とする。 確認テスト：単元終了後に確認テストを実施する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小野 美穂子			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	2023 年度版 CAD 利用技術者試験 2 次元 2 級・基礎公式ガイドブック 日経 BP マーケティング CAD 利用者技術試験「基礎試験」練習問題ドリル 365 問					
関連科目	CAD 演習					
授業計画	1 第 1 章 CAD システムの知識と利用 2 第 2 章 CAD システムのプラットフォーム 3 第 3 章 CAD システムの関連知識 4 第 4 章 製図の知識 5 第 5 章 図形 6 問題演習					

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	日本語能力試験Ⅴ			科目コード	28017201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	前期	45	3	無
授業の概要・目的	日本語能力試験合格を目的とする。 語彙・文法・聴読解・会話作文の各授業で学んだ内容を、JLPT 試験の問題答練として演習し、確実に合格できるようにしていく。 日本語能力試験 JLPT の試験を同様の形式で行うことにより、自身の課題発見につなげる。					
到達目標	日本語能力試験の語彙、文法、聴解・読解の各分野について、試験のレベルに対応した問題が理解できる。					
評価項目	期末(模擬)試験（85%）提出物（10%）出席率（5%）					
評価基準	期末試験：対策期間中に実施した模擬試験の平均点で評価。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小野 美穂子			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「合格できる日本語能力試験」アルク出版					
関連科目	日本語能力試験Ⅰ 日本語能力試験Ⅱ 日本語能力試験Ⅲ 日本語能力試験Ⅳ					
授業計画	1. 言語知識（文字）（語彙）（文法） 2. 読解 3. 聴解 4. 模擬試験 5. 弱点問題答練					

国際ＩＴシステム学科 2025 年度

科目名	ビジネス実務Ⅵ			科目コード	28072601	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	3 年次	後期	45	3	無
授業の概要・目的	Ⅴでは社内のマナーを具体的に学び習得後、Ⅵでは社外のマナーで具体的な場面での礼儀作法、言葉遣い、マナーを学びながら日本文化の理解をする。					
到達目標	Ⅴに引き続き、日本での就職を具体的に意識して、社外での礼儀作法やマナーから日本文化を理解する。					
評価項目	期末試験(85%)、確認テスト(10%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト：単元ごとの確認テストを行う。 期末試験：単元ごとの内容、まとめ問題等を行う。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小野 美穂子			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	改訂版 留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール					
関連科目	ビジネス基礎Ⅰ ビジネス基礎Ⅱ ビジネス実務Ⅲ ビジネス実務Ⅳ ビジネス実務Ⅴ					
授業計画	第四章 社外のマナー 第五章 ビジネスのスキル					

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	実践ビジネスコミュニケーションⅡ			科目コード	28017401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	あらゆるビジネスシーンで必要とされる構文または談話レベルの発話—敬語や待遇表現—について、実際の場面を設定し、学生自ら主体的に学べるようグループワークで実践し、日本のビジネス社会で使えるようする。					
到達目標	Ⅰに引き続き、日本で働くときに役に立つマナーやルールについて理解し、実践できる。					
評価項目	期末試験(75%)、確認テスト(10%)、提出物(10%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト：単元ごとについて確認テストを行う。 提出物：決められた単元の発話を動画で撮影し、発音のレベルをはかる。 期末試験：単元ごとの内容、まとめ問題等を行う。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	中級レベルからの実用ビジネス日本語（株式会社 アルク） 話す・書くにつながる！ 日本語読解 中上級（株式会社 アルク）					
関連科目	言語基礎ⅠA ⅡA 言語基礎ⅠB ⅡB 通訳Ⅰ Ⅱ 言語知識ⅠA ⅡA 言語知識ⅠB ⅡB ビジネス文書演習Ⅰ Ⅱ 実践ビジネスコミュニケーションⅠ					
授業計画	1 第1章 挨拶 自己紹介 慰めの言葉等 スピーキングテスト 2 第2章 電話対応 電話対応のフローチャート 電話を取る 電話をかける 他 スピーキングテスト 3 第3章 依頼 依頼を受ける 催促する 4 Coffee break 日本の社会における習慣やマナーについて 確認テスト 5 1 課 文章に書かれている価値観と一般的な価値観を比較し、自分の考えをまとめる 6 2 課 筆者の提案を課題を通して実践し、理解を深める 7 3 課 テーマである「記憶」「言語」について話し合い、発表する 8 6 課 文章のテーマに関して、話し合ってまとめる 9 「一番好きな日本語」についての作文を書く					

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	システム制御演習Ⅱ			科目コード	28022201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	企業においては、製造部門ではシーケンス制御装置が多用されており、設計・開発部門では、CAD や CAE など支援ツールを活用して製品開発を行う場面が多くなってきている。本講義では、機械制御の実際と実機を利用して工場の制御システム及び PLC 言語の基礎を学習する。					
到達目標	ラダー言語の基礎をもとにプログラムを組み、実際にシステムを動かすことができる。					
評価項目	期末試験（95%）、出欠席（5%）					
評価基準	期末試験：筆記試験による点数評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	玉置 順一			非常勤講師		
実務経験者による授業	機械系大学にて、機械設計・材料力学等の機械系分野を履修後、ソフトウェア企業にて工業系システムエンジニアとして、システム開発の上流工程から下流工程、運用と幅広く従事した経験を活かし、情報系実習指導を行う。					
テキスト・参考文献	自校作成					
関連科目	システム制御演習Ⅰ					
授業計画	1 シーケンス制御の基礎 スイッチの理解 2 シーケンス制御の基礎 シーケンス回路の理解 3 シーケンス制御の基礎 リレーの理解 4 シーケンス制御の基礎 カウンタの理解 5 シーケンス制御の基礎 センサの理解 6 ラダー言語演習 自己保持回路の理解 7 ラダー言語演習 フリップフロップ回路の理解 8 ラダー言語演習 インターロック回路の理解					

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	CAD 演習 V (2D)			科目コード	28025901	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	AutoCAD の基本操作および CAD 図面作成の基礎力を「AutoCAD 練習帳」を活用して体系的に学ぶ。最終的には、複数の機械部品図あるいは簡易建築図など、一から作図できるレベルを目指す。テキストに掲載されている 100 問の演習問題のうち、授業の進行や習熟度に合わせた代表的な課題を扱い、必要に応じて追加の図面演習も行う。					
到達目標	1. AutoCAD の基本操作（ファイル管理、画層管理、線種・線幅の設定など）が理解できる。 2. 「AutoCAD 練習帳」の演習問題を通じ、基本的なコマンド（作図・修正コマンドなど）を習得できる。 3. 図面の寸法記入や注釈（文字・寸法線）、印刷・レイアウト機能の扱い方が理解できる。 4. 一連の作図手順を把握し、任意の簡単な機械部品図または簡易建築図を一から作成できる。					
評価項目	課題制作物（95%）、出欠席（5%）					
評価基準	課題制作物：提出された課題を評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	玉置 順一			非常勤講師		
実務経験者による授業	機械系大学にて、機械設計・材料力学等の機械系分野を履修後、ソフトウェア企業にて工業系システムエンジニアとして、システム開発の上流工程から下流工程、運用と幅広く従事した経験を活かし、情報系実習指導を行う。					
テキスト・参考文献	『AutoCAD 練習帳 作図練習編 100 問：みんなにやさしい CAD の超入門書』 必要に応じて配布資料を用いて補足説明を行う。					
関連科目	CAD 演習 I (3D) CAD 演習 II (2D) 1 年 CAD 演習 II (2D) 2 年					
授業計画	1 オリエンテーション AutoCAD 概要の振り返り 振り返り（AutoCAD の概要）、CAD 概要について理解できる 2 作図編・第 1 章 ライン、円、ポリライン等の作成および簡単な修正コマンドを習得 3 作図編・第 2 章 文字スタイルの設定、基本寸法記入ができる 4 作図編・第 3 章 注釈オブジェクトの配置や寸法スタイルのカスタマイズができる 5 作図編・第 4 章 図面枠の作成と縮尺の適切な設定ができる 6 作図編・第 5 章 ブロックやグループ機能の活用、再利用性を高める操作を理解する 7 【続】作図編・第 1 章 パラメトリック図面や外部参照（Xref）の基礎を理解する 8 【続】作図編・第 2 章 効率的な作図方法の習得 9 【続】作図編・第 3 章 繰り返し作業を減らすマクロ設定やカスタマイズの導入を学ぶ 10 総合演習（1） CAD 設計課題 部品図などの一連の作成手順を通じて総合力を身につける 11 総合演習（2） 応用課題 応用課題に取り組み、柔軟な作図アプローチを習得する 12 総合演習 プレゼンテーション作成					

国際ITシステム学科 2025 年度

科目名	接遇演習			科目コード	28014701	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	後期	45	3	無
授業の概要・目的	お茶の出し方や名刺交換等のビジネスマナー、冠婚葬祭の基礎知識、食事のマナーなど、社会人として必要なビジネスマナー・大人として必要なマナーすべてを習得する。					
到達目標	日本でのビジネスシーンで、日本固有のしきたりや、企業内での来客対応等について学び、日本での社会人生活に必要な知識や習慣を理解できるようにする。テーブルマナーを理解し、実践できる。					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト：単元ごとの確認テストを行う。 期末試験：単元ごとの内容、まとめ問題等を行う。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小野 美穂子			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	・実社会で求められる ビジネスマナー 専門教育出版 井上 洋子 著 ・講師作成資料配布					
関連科目	ビジネス実務					
授業計画	1. テーブルマナー 確認テスト 2. お茶 確認テスト お茶実践 3. 冠婚葬祭 確認テスト 4. まとめ					

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	コンピュータシステムⅢ			科目コード	28025201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	後期	90	4	無
授業の概要・目的	科目 A 分野の専門用語の確認、科目 B の思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行い、基本情報技術者試験の取得を目的とする。					
到達目標	技術戦略マネジメント、システム戦略、開発技術、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントおよびシステム監査についての基本的な知識を身につけ、専門用語が理解できる。基本情報技術者試験の合格を目指す。					
評価項目	本試験点数(75%)、模擬試験点数(20%)、出席率(5%)					
評価基準	本試験点数：基本情報の結果により判定し評価する。模擬試験点数：模擬試験点数により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤原 直樹			常勤		
実務経験者による授業	SE プログラマー 5 年					
テキスト・参考文献	情報処理試験合格へのパスポート コンピュータ概論（シラバス 9.0 対応） システム開発と情報技術(シラバス 9.0 対応) IT 戦略とデータ利活用(シラバス 9.0 対応) ウイネット					
関連科目	コンピュータシステムⅠ コンピュータシステムⅡ					
授業計画	1. 情報系学科合同授業説明 2. 午前問題答練 3. 午後問題答練 4. 模擬試験 1 5. 弱点補強 6. 模擬試験 2 7. 総まとめ 8. 決起会					

国際 I T システム学科 2025 年度

科目名	IT 企業リテラシー II			科目コード	28070901	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	日本の関連企業で就労する上で、新入社員から中堅社員としてスムーズなキャリアパスができるように、各自が就職する専門的な企業形態や仕組みを知る。日本の社会で通用する（正しい敬語を使用し）ビジネス文書が書けるようになる。 SPI の問題（言語分野）を理解し、理解できるようになる。					
到達目標	I に引き続き、就職先となる「システム開発」、「Web システム」、「システム制御」、「CAD」の各分野について、自分の職種に合った分野の学習を主体的に進める。就職先の会社や業界について、研究を深め、プレゼンテーションができる。					
評価項目	プレゼンテーションおよび PP 課題 (95%)、出欠席 (5%)					
評価基準	確認テスト：单元ごとの確認テストを行う。 期末試験：单元ごとの内容、まとめ問題等を行う。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	難波 芳子			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	あつという間にまるわかり！SPI 問題集 図解＆書き込み式 株式会社 長岡書店					
関連科目	IT 企業リテラシー I					
授業計画	1 SPI 言語分野 同意語・反意語、文法、敬語、長文問題等、日本の社会で通用する知識を身につける 2 企業調べ 内定先の企業概要・職種について調べる 組織を知る 3 企業概要パワーポイント作成 企業調べで調べた内容についてパワーポイントを作成し発表する 4 動画作成 3 年間の自分史を動画作成する 5 まとめ 自分が希望している職種についての理解とまとめ					

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	卒業研究			科目コード	28070101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	3 年次	後期	100	4	無
授業の概要・目的	システム開発、アプリケーション開発等のチームに分かれ、ビジネス系と協力して IT を使用してどんな解決ができるか企画し、開発、テスト、プレゼンテーションを行い、自分の立ち位置を考えてメンバーと協力しながら納期内に完成させる。					
到達目標	3 年間の集大成として、学科コラボレーションに取り組む。「ビジネス系」×「情報系」で日本人学生と協働し、それぞれの業界が抱えている問題を解決し、提案できるようにする。					
評価項目	卒業研究振り返り課題 (95%)、出欠席 (5%)					
評価基準	卒業研究を振り返って PowerPoint 作成。役割、目的、内容、成果など総合評価。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小野 美穂子			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	1. クロスエデュケーション 2. システム企画 3. 基本設計 4. プログラミング 5. プレゼンテーション					